●応急手当普及員が発行できる普通救命講習の種類

講習の種別		主な普及項目
普通救命講習	Ⅰ （3時間）	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法
	Ⅱ （4時間）	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法 (注)受講対象者によっては、小児、乳児、新生児に対する心肺蘇生法とする。
	Ⅲ （3時間）	心肺蘇生法(主に小児、乳児、新生児を対象)、大出血時の止血法

※各救命講習のカリキュラム、講習時間等については下記の表を参考に計画してください。

※**普通救命講習Ⅱ**には、**心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）**がありますが、講習指導担当者である応急手当普及員が、講習細目を網羅できるよう任意で作成し実施してください。

普通救命講習Ⅰ

１ 到達目標	１　心肺蘇生法（主に成人を対象）を救急車が現場到着するのに要する時間程度できる。 ２　自動体外式除細動器（ＡＥＤ）について理解し、正しく使用できる。 ３　異物除去法及び大出血時の止血法を理解できる。
２ 標準的な実施要領	１　講習については、実習を主体とする。 ２　１クラスの受講者数の標準は、３０名程度とする。 ３　訓練用資機材一式に対して受講者は５名以内とすることが望ましい。 ４　指導者１名に対して受講者は１０名以内とすることが望ましい。

項　　目			細　　目	時間(分)
応急手当の重要性			応急手当の目的・必要性(心停止の予防等を含む)等	１５
救命に必要な応急手当（主に成人に対する方法)	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法(実技)	反応の確認、通報	１６５
			胸骨圧迫要領	
			気道確保要領	
			口対口人工呼吸法	
			シナリオに対応した心肺蘇生法	
		ＡＥＤの使用法	ＡＥＤの使用方法（ビデオ等)	
			指導者による使用法の呈示	
			ＡＥＤの実技要領	
		異物除去法	異物除去要領	
		効果確認	心肺蘇生法の効果確認	
	止血法		直接圧迫止血法	
合計時間				１８０

備　考	１　２年から３年間隔での定期的な再講習を行うこと。

普通救命講習Ⅱ

１ 到達目標	１　心肺蘇生法（主に成人を対象）を救急車が現場到着するのに要する時間程度できる。 ２　自動体外式除細動器（ＡＥＤ）について理解し、正しく使用できる。 ３　異物除去法及び大出血時の止血法を理解できる。
２ 標準的な実施要領	１　講習については、実習を主体とする。 ２　１クラスの受講者数の標準は、３０名程度とする。 ３　訓練用資機材一式に対して受講者は５名以内とすることが望ましい。 ４　指導者１名に対して受講者は１０名以内とすることが望ましい。

項　　目			細　　目	時間(分)
応急手当の重要性			応急手当の目的・必要性（心停止の予防等を含む）等	１５
救命に必要な応急手当（成人に対する方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法（実技）	反応の確認、通報	１６５
			胸骨圧迫要領	
			気道確保要領	
			口対口人工呼吸法	
			シナリオに対応した心肺蘇生法	
		ＡＥＤの使用法	ＡＥＤの使用方法（ビデオ等）	
			指導者による使用法の呈示	
			ＡＥＤの実技要領	
		異物除去法	異物除去要領	
		効果確認	心肺蘇生法の効果確認	
	止血法		直接圧迫止血法	
	心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）		知識の確認	６０
	心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）		シナリオを使用した実技の評価	
合計時間				２４０

備 考	1　普通救命講習Ⅱは、業務の内容や活動領域の性格から一定の頻度で心停止者に対し応急の対応をすることが期待・想定される者を対象とすること。 2　筆記試験及び実技試験については、客観的評価を行い、原則として８０％以上を理解できたことを合格の目安とすること。 3　２年から３年間隔での定期的な再講習を行うこと。

普通救命講習Ⅲ

1 到達目標	1　心肺蘇生法（主に小児、乳児、新生児を対象）を救急車が現場到着するのに要する時間程度できる。 2　自動体外式除細動器（ＡＥＤ）について理解し、正しく使用できる。 3　異物除去法を実施でき、大出血時の止血法を理解できる。
2 標準的な実施要領	1　講習については、実習を主体とする。 2　１クラスの受講者数の標準は、３０名程度とする。 3　訓練用資機材一式に対して受講者は5名以内とすることが望ましい。 4　指導者１名に対して受講者は１０名以内とすることが望ましい。

項　　目			細　　目	時間(分)
応急手当の重要性			応急手当の目的・必要性（心停止の予防等を含む）等	１５
救命に必要な応急手当（主に小児、乳児、新生児に対する方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法（実技）	反応の確認、通報	１６５
			胸骨圧迫要領	
			気道確保要領	
			口対口（口鼻）人工呼吸法	
			シナリオに対応した心肺蘇生法	
		ＡＥＤの使用法	ＡＥＤの使用方法（ビデオ等）	
			指導者による使用法の呈示	
			ＡＥＤの実技要領	
		異物除去法	異物除去要領	
		効果確認	心肺蘇生法の効果確認	
	止血法		直接圧迫止血法	
合計時間				１８０

備 考	1　２年から３年間隔での定期的な再講習を行うこと。